

2025年度（令和7年度）事業計画書

2025年(令和7年)11月1日から2026年(令和8年)10月31日まで

特定非営利活動法人 トラ・ゾウ保護基金

1 事業実施の方針

健全な野生の世界の象徴であるトラ、ゾウ及びイリオモテヤマネコが、人為的な脅威によって危機にさらされている「生息地における野生生物保全活動」、人が野生の生きものとの共存に向かって行動するために生息地外で実施する「野生生物保全に関する教育・普及」、人と野生の生きものとの共存を公共政策の要とするための「野生生物保全に関する政策提言」を行います。

また、それらの活動成果を、会報（年次報告書、通信）、ホームページ、SNS等を通じて、会員、寄付者に報告するとともに、一般の人々に普及します。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【27,934】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|---------------------------|--|---------------------------------------|-------------------------------------|-------|---------------------------------------|---|---------|
| 生息地における野生生物保全活動事業 | インドのトラ及びゾウ、西表島のイリオモテヤマネコの生息地保全に必要な調査、密猟や交通事故防止のためのパトロール等の支援、生息地周辺の地域住民のキャパシティビルディング教育普及等を行う。 | 通年 | インド(マハラシュトラ州等中央インド、ケララ州) 日本(西表島) | 3人 | 生息地内及びその周辺に暮らす地域住民、現場で活動する行政機関のレンジャー等 | 地域住民6,000人 レンジャー等100人 | 19,686 |
| 生息地外における野生生物保全に関する教育・普及事業 | イリオモテヤマネコの生息地保全野生生物製品の消費見直しなど生物多様性保全の普及啓発(オンラインイベント、対面イベント、情報発信)を行う。 | オンラインイベント:1回 対面イベント:10回 情報発信:通年 | オンラインイベント:全国 対面イベント:東京、神奈川、仙台 | 8人 | オンラインイベント・対面イベント参加者、HP、SNS閲覧者 | オンラインイベント参加者:延べ100名、対面イベント参加者:延べ150名、HP、SNS閲覧等延べ100万人 | 3,268 |
| 野生生物保全に関する政策提言事業 | 象牙市場の閉鎖、イリオモテヤマネコに対する観光利用の影響抑止等野生生物保全のための調査報告書の作成、関係機関に対する意見書提出、意見陳述等を行う。 | 報告書・意見書・要望書 年4通 | 世界各国 東京 沖縄 | 5人 | 報告書等提出先の関係機関及びHP、SNS閲覧者 | 関係機関延べ150機関、HP、SNS閲覧延べ700人 | 4,313 |
| チャリティー・イベントの開催事業 | 当基金を支援する実行委員会が実施する生息地における保全活動等に対する寄付を確保・維持するための会場イベント開催に情報発信で協力する。クラウドファンディングで寄附を呼びかける。 | 会場イベント:年0回、クラウドファンディング:年1回 | 会場イベント:東京 クラウドファンディング:全国 | 4人 | 会場イベント参加者、クラウドファンディング参加者 | 会場イベント参加者0人、クラウドファンディング参加者:100人 | 0 |
| 会報発行事業 | 年次報告書・通信の発行、ホームページ、SNSの運営を行う。 | 年3通(通信等) 通年(HP、SNS) | 全国 | 5人 | 会報閲覧者、HP、SNS閲覧者 | 発行2,000部(通信等3通)、HP、SNS閲覧当延べ105万人 | 667 |